令和8年11月1日発行　No.131

おおま議会だより

奥戸小学校 学芸会
今年で最後の鼓笛演奏



主な内容　9月定例会

P２　９月定例会・第２回臨時会
P３　歳入・歳出諸決算
P４　一般質問
P５　全員協議会
P６　特別委員会・議会のうごき①
P７　議会のできごと①・議会のうごき②
P８　議会のできごと②・編集後記

【発行】青森県大間町議会　【編集】議会広報編集委員会
〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4　電話 0175－37－3029

第３回 ９月定例会

令和８年第３回定例会を９月11日に開会し、９月17日に閉会しました。
本議会に提案された議案６件はすべて原案とおり認定、可決しました。

令和8年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ２億５，８０５万円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億３，５０６万円とした。

歳入の主なるもの

地方交付税
○普通交付税の交付額の確定に伴い２億５，０５０万円を追加計上。

県支出金
○県補助金で、青森県核燃料物質等取扱税交付金１，３９４万円を追加計上。

町債
○起債対象事業費の精査に伴い過疎対策事業債３，９８０万円を減額計上。

歳出の主なるもの

総務費
○総務管理費の財産管理費で、財政調整基金積立金１，０００万円、減債基金積立金２，６８３万円、地域福祉基金積立金１億５，０００万円をそれぞれ計上。
○企画費で、事業の精査により工期が２カ年となったことから大間材木無線共聴施設改修工事１，６５０万円を減額計上。

農林水産業費
○繁殖センター費で、飼料費１，０７９万円を追加計上。

土木費
○道路橋梁費の道路橋梁維持費で、道路維持補修工事８００万円、下水道費で、大間町下水道事業会計負担金７７０万円をそれぞれ追加計上。

予備費
○財源調整いたしまして６８１万円を追加計上。

工事請負契約の締結

町営住宅根田内団地建替工事【第３期】（１工区）
○契約方法　指名競争入札
○契約金額　５，０８３０万円
○契約相手
・㈱竹正工務店・北山建築・竹内建築経常建設共同企業体
・代表者　㈱竹正工務店　代表取締役　竹内正弘

町営住宅根田内団地建替工事【第３期】（２工区）
○契約方法　指名競争入札
○契約金額　５，０９３万円
○契約相手
・渋田・宮野経常建設共同企業体
・代表者　㈱渋田産業　代表取締役　澁田愼也

第２回臨時会

（令和８年８月12日）

専決処分

承認

一般会計
○歳入歳出それぞれ４，７９１万円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億７，７００万円とした。
※（仮称）大間町学校給食センター建設事業及び財源調整の予算措置。

工事請負契約の締結

（仮称）大間町学校給食センター建設工事
○契約方法　条件付き一般競争入札
○契約金額　９億２，１８０万円
○契約相手
・丸井・渋田特定建設工事共同企業体
・代表者　丸井重機建設㈱　代表取締役　丸井哲人

財産の取得

GIGAスクール用端末購入
○契約方法　企画提案競技
○契約金額　２，２１４万３，０００円
○契約相手
・㈱ビジネスサービス青森支店　支店長　中村牧大

歳入・歳出諸決算審査特別委員会報告

令和７年度

歳入・歳出諸決算を認定

①一般会計

歳入	収入済額	53億7,693万9,054円	収入未済額	6,312万8,757円	予算額との比較	△3,965万8,054円
歳出	支出済額	51億6,963万8,734円			不用額	1億6,045万3,266円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	7億5,552万1,006円	収入未済額	1億1,351万9,888円	予算額との比較	2,258万4,994円
歳出	支出済額	7億3,113万4,321円			不用額	4,697万1,679円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	7,520万9,796円	収入未済額	401万8,508円	予算額との比較	△751万8,796円
歳出	支出済額	6,680万4,678円			不用額	88万6,322円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億7,095万5,855円	収入未済額	1,455万6,334円	予算額との比較	1,117万7,145円
歳出	支出済額	6億　328万1,511円			不用額	7,885万1,489円

⑤水道事業会計

	【1】収益的収入及び支出		【2】資本的収入及び支出	
収入	決算額	1億7,242万5,514円	決算額	2億3,035万　526円
	予算額に比べ決算額の増減	68万7,514円	予算額に比べ決算額の増減	△1,398万9,474円
支出	決算額	1億6,738万8,477円	決算額	3億1,298万1,393円
	不用額	815万4,523円	不用額	1,870万2,607円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額8,263万867円は当年度分消費税資本的収支調整額1,358万8,167円、当年度分損益勘定留保資金6,702万846円、繰越利益剰余金202万1,854円で補填した。

⑥下水道事業特別会計

	【1】収益的収入及び支出		【2】資本的収入及び支出	
収入	決算額	2億1,314万6,342円	決算額	1億2,092万5,000円
	予算額に比べ決算額の増減	△322万1,658円	予算額に比べ決算額の増減	0円
支出	決算額	1億9,043万7,535円	決算額	1億6,633万5,282円
	不用額	838万4,465円	不用額	818万6,718円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額4,541万282円は当年度分損益勘定留保資金4,015万1,779円、過年度分損益勘定留保資金525万8,503円で補填した。

監査委員から

審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、下水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれの関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

留意改善を要する事項

一般会計の収入未済額の主なものは町税である。

特別会計等の収入未済額は前年度より減少している。

滞納額の不納欠損処理も毎年行われ、平等性や住民感情を考慮すると時効中断の作業等も考える必要があると思われるが、不納欠損に至るまでの経緯においては十分な確認と協議を経た上で処理を行うよう配慮が必要である。

町税及び各特別会計の収納対策としては、青森県市町村税滞納整理機構へ徴収依頼し収納率向上を図っているが、町県民税はじめ各種税においては未収額が多額となっている。また、全国的にも注目度の高い当町の大間まぐろを目玉とした、ふるさと応援寄附金においては増額傾向となっていることからも、今後も各関係機関と連携した施策を講じていただきたい。

なお、公金の取り扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し、町民目線での予算経理にあたっていただきたい。



傳法　正広 議員

質問時間　40分

1、老朽水道管の更新計画について

約30年ほど前に老朽管更新事業が実施されたと伺っているが、老朽化が進み破損に伴う漏水を目の当たりにしたことがある。住民生活に支障を来さない計画的な更新計画を策定されているのか？

町長答弁　水道管の総延長54キロメートルあり、現時点では、耐用年数を超えている水道管がわずかなことから、詳細な管路の更新計画については作成していない。令和2年度に水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画を策定しました。この計画は、中長期的な視点で施設の維持管理・更新・財務計画・リスク管理を一体的に進めるために作成したものである。今後の老朽管の更新は災害時において重要な施設となる大間小・大間中・大間病院の通りである配水管を優先して行うべきと考えている。近年の地震災害を踏まえ耐震化を考慮した計画になるよう検討する。

再質問　当町においての老朽管の漏水は、最近起きているのか？

町長⇒生活整備課長　近年の年間平均件数は、5件前後となっております。漏水が発見後の対策ですが、専門業者に漏水の調査を委託し、町内の水道管の漏水の有無について調べております。また、平時のパトロールや住民からの情報提供によって、速やかに修繕しております。

再質問　水道管の配管形態や配管ルートが誰でも分かるような状況で管理台帳が整備されているのか？

町長⇒生活整備課長　従前は過去に工事した図面を基に紙ベースの台帳で管理していましたが、令和5年度に管路台帳システムを導入し運用しております。これにより、パソコンの地図上で管路の位置や敷設年度、材料の種別、口径等を一元管理できるようになっており、パソコン上で見れる状況になっています。

再質問　令和7年度大間町水道事業会計決算審査の決算書において、今後は更新需要に備えるため、現在の経営状況を見直し、水道料金の引き上げを視野に入れ、計画的な施設・管路の更新を行っていくという記載が明確にされています。これはどのような対応を考えているのか？

町長　公営企業は赤字が続いています。原子力発電所ができるまでは、水道事業の工事費の相応分を事業者から負担頂いている。作業員の増による水量の増や災害対策など早めに計画を出して進めていきたい。

再質問　事業者負担も理解できるが、町が責任を持たないといけないと思います。どうしても一般住民に負担を求め水道料金の引き上げにならざるを得ないんだろうと思います。町長とすれば引き上げは難しいとは思いますが、一般会計負担もその分増えていきます。事業報告での料金改正のお考えは？

町長　私が就任した時から水道事業は、上げなきゃやっていけないという状況は聞いてました。やっぱり町民の負担もなければやっていけないのが公営企業の現状ですから、わずかでも段階踏んで上げなきゃいけない。この物価高騰の中で水道料金がまだずっと上げてない状況なんで、できれば何百円程度は上げなきゃいけないんじゃないかなと思ってます。いろいろな意味で滞納している方が料金払ってない方が結構いますので、慎重に検討してやっぱり上げなきゃいけないっていうことを考えています。

再質問　災害対策での、水道の供給で給水のポリ容器確保や給水車両も直ちに現場に向かえる状況なのか？

町長　4年前に風間浦の土砂災害で水道が出なくなり、応援をお願いされました。その時は、スムーズにポリタンクなどの対応は直ぐできました。町内で災害があった時は、もっと範囲が広くなりますので、設備投資はしないといけない現状にあります。

再　水道管の対応年数と老朽管及び現状把握をしっかりと行い、非常事態にも備えた日常点検を強く望みます。

2、旧奥戸中学校について

今年2月の全員協議会で過疎地域持続的発展計画策定の説明がありました。

その中で旧奥戸中学校の解体工事事業が計画されたものの、過去の一般質問等の答弁と照らし合わせても説明内容が明確とはいえず、その結果、過疎地域持続的発展計画から削除されたものである。この間に検討を重ね方向性を見出すことができているのか？

町長　校舎については、当初学校給食センターとしての活用の検討、その後は風力発電事業者の事務所等の活用も検討しておりました。私の考えでは、まずグランドの活用として太陽光発電を整備し、奥戸地区の公共施設の電気料を賄うようなことをできないのか、また経済産業省等の補助金を使えないのか検討してもらいたいと思っております。これらの現状を考慮し、学識経験者や地域の町内会長等、有識者で組織する委員会を作って検討していきたいと考えております。

再質問　過疎計画の際に取り下げた要因は、過去の議会の一般質問などで同様の答弁をされ、今後、知恵を出し合って有効利用計画を図っていきたいという答弁が令和6年3月定例会です。今から2年6カ月前のお話です。先般、今年の2月なので6カ月以上経過しているなか、過疎計画の際に旧奥中の解体があり、何故なんですか？の問いに、町長は今までの過程で検討会議とかいろんな会議をやらなかったというところは自身の責任を認めて検討委員会みたいなものを作って皆さんと共にやって決断をしないといけないというお答えをされている。先ほどの答弁とあまり状況が進んでいないものです。

この答弁から、検討委員会は設置されていないと思うんですけど、いかがなものでしょうか？

町長　検討委員会は設置されていません。

再質問　検討委員会としての報告をいつ頃、町長は希望しているのか？

町長　何事も本当は早くやらなきゃいけないと思ってますけども、いろいろとありましてなかなかできなかったというのは本当に申し訳ないなと思ってます。まずは、議会が終わったら早速、教育委員会のほうと相談しましてそういう検討委員会を早めに作ってですね、活用を考えたいと思っています。

再質問　肝入りでやっていただければ有難いものです。町長、もう一度決意をお話していただけないでしょうか？

町長　委員の中身をいろんな方、どういう方にするかをまずは始めなきゃいけないという段階ですので、その後なんとか検討委員会のほうを立ち上げたいと。皆さんに約束します。

再質問　必要な人員、人材を委嘱され旧奥中が今後活用できるような対応をお願いします。

それで、教育課長に一つお伺いします。文部科学省から廃校活用事例集というのが紹介されていますが、実務的に課長はこれらの事例集に目を通したことがあるかお知らせ下さい。

教育課長　活用事例集があることも把握しておりませんでしたので、内容等はちょっと確認できておりません。

再　文部科学省が出している事例集は、全国都道府県でいろんな市町村が廃校を活用した事例が載っています。大間町にとっても、参考になるものと思います。

ちなみに、青森県では、大鰐町の旧大鰐第三小学校が生ハム工場として、また西目屋村では、旧西目屋小学校が木工品工場・喫茶等として活用されてます。

最後になりますけども、この地域にとって地域振興だったり定住促進そして何よりも安心して暮らせる施策に活用できることを望みます。

全員協議会　令和８年８月12日・９月11日 開催

（仮称）大間町学校給食センター建設事業費 約10億6,000万円

うち 補助金等　約７億3,698万円、一般財源　約３億2,284万円

（仮称）大間町学校給食センター建設事業について、８月12日には、事業費補助金の各種申請に係る経過・建設事業費・工程変更について、９月11日には事業経過について報告されました。

年度別の建設事業費一覧

年　度	事　業　費	補 助 金 等	主 な 内 容
令和７年度	2,508万円	0円	実施設計業務委託料
令和８年度	３億5,381万4,827円	２億9,791万6,322円	センター工事・施工監理業務委託料・外構工事
令和９年度	６億8,092万6,267円	４億3,906万3,814円	センター工事・施工監理業務委託料・外構工事・給食配送車両購入・各種備品等

事業費の全体像（８月12日時点）
総事業費　10億5,982万1,094円
うち 補助金等　７億3,698万136円、一般財源　３億2,284万958円

工程変更

工程は「令和８年７月初旬～令和９年10月29日」から「令和８年８月中旬～令和９年12月24日」へ変更。

入札公告期間	令和８年７月21日～令和８年８月４日
入札実施日	令和８年８月５日
本契約年月日	令和８年８月12日
第１期工事期間	令和８年８月12日～令和９年２月10日
第２期工事期間	令和９年７月（交付決定後）～令和９年12月24日
給食調理等業務委託締結	令和９年８月（従業員採用開始）
給食センター従業員研修	令和９年12月～令和10年１月末
備品購入搬入・設置	令和10年１月上旬～１月末
給食提供開始	令和10年２月上旬

■ **今後の予定**　令和10年２月上旬の給食提供開始に向け、建設工事、調理等の業務委託の締結、備品の購入搬入・設置が進められる予定です。

特別委員会　令和８年９月11日　開催

（大間原子力発電所対策特別委員会）

大間原発の新工程提示を先送り　加藤社長陳謝
運転開始時期も示されず　議員から苦言相次ぐ

委員会では、大間原子力発電所の準備工事の状況と、工事拡大に伴う地域への影響・対応、訴訟の審理状況について、電源開発㈱より報告を受けました。

委員会には、電源開発㈱加藤社長も出席　今秋までに示すとしていた安全強化対策工事の開始時期を含む新工程の提示は先送りされ、運転開始の新たな時期も示されませんでした。

・工事量が膨大で工程の精査に時間

加藤社長は、膨大な工事量を伴い大規模な作業が同時並行で行われるため、計画の作成と工程の精査にさらに時間が必要と説明。

時期を説明できないと判断したとして陳謝し、新工程を改めて示す時期も未定としました。

今後は全体工程の確定を待たず、実施可能な準備工事を前倒しで進める方針です。

・議員から早期の工程提示を求める声

議員からは、現実的な工程を早く示すよう求めるとともに、延期が繰り返され、町民の期待を裏切ってきたとの苦言が相次ぎました。

・工事拡大に伴う地域への影響に対応

準備工事の拡大に伴う交通量の増加、食事・宿泊の需要増、上水道や廃棄物処理への負荷などについても報告がありました。Ｊパワーは、地元の安全・安心を最優先に、町村や関係者と連携して対応し、地元企業の参画や雇用・消費の拡大につなげるとしています。

・函館市の訴訟は審理継続

函館市が、国とＪパワーを相手に提起した訴訟は、東京地方裁判所で審理が続いています。

令和８年７月７日に第37回口頭弁論が開かれ、今後は同年11月19日、令和９年３月16日に口頭弁論が予定されています。

議会のうごき

（令和８年８月～令和８年10月）

８月

4日　下北総合開発期成同盟会（県知事へ）重点要望活動（青森市・議長及び事務局長）

12日　議会運営委員会
第２回大間町議会臨時会
議員全員協議会

14日　大間町ブルーマリンフェスティバル

15日　令和８年度大間町20歳のつどい

27日　例月出納検査（宮野議会選出監査委員）

27日～29日　全国町村議会広報研修会（東京都・堺委員長及び傳法委員）

９月

9日　議会運営委員会
大間原子力発電所対策特別委員会
第３回大間町議会定例会開会
議員全員協議会

11日　総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会

14日　歳入歳出諸決算審査特別委員会

15日　一般質問・議案審議

16日　議会広報編集委員会

17日　議案審議
第３回大間町議会定例会閉会

18日　大間原子力建設所サイト内見学
秋の交通安全及び防犯パレード（旧フェリー埠頭・議長）

19日　大間中学校体育祭

大間町議会の出来事

研修会

東京都
8月28日

全国町村議会広報研修会





日　時　令和８年８月28日（金）13時～16時40分
会　場　LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）
テーマ　①住民と議会をつなぐ広報デザイン術
　　―王寺町議会広報紙のリニューアル　その狙いと効果―
　　②議会広報紙のビフォーアフター
　　紙面を見直す、効果的なテクニック
　　③山形県川西町議会における議会広報の取り組み
　　～「読まれる」議会だよりを目指して～

見学

大間町
9月17日

電源開発㈱大間原子力建設所サイト内見学





日　時　令和８年９月17日（木）
会　場　電源開発㈱大間原子力建設所

10月

1日　下北郡事務局長会議（大間町議会棟・事務局長）
10日　青の煌めきあおもり国スポ総合開会式（青森市・議長）
14日　議会広報編集委員会
17日　大間小学校学習発表会
21日　奥戸小学校学芸会
21日　議会広報編集委員会
21日～22日　正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長及び各常任委員長、議会運営委員長並びに事務局長）
23日　例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
青の煌めきあおもり障スポ総合開会式（青森市・議長）
26日～27日　町村監査委員全国研修会（東京都・宮野議会選出監査委員）
28日～31日　全国原子力発電所立地議会サミット（東京都・議員及び事務局）
24日～25日　県町村議会議長会理事会及び県内視察（外ヶ浜町・議長及び事務局長）
26日　風間浦村役場庁舎及び消防庁舎落成記念式典並びに落成祝賀会（風間浦村・議長）
28日～29日　下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（青森市・議員及び事務局）
30日　例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
（仮称）大間町学校給食センター建設工事安全祈願祭

大間町議会の出来事

研修会

青森市
９月28日

下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会





日　時　令和８年９月28日（月）16時～17時
会　場　アップルパレス青森３階「ねぶたの間」
演　題　青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生制度について
講　師　青森県　環境エネルギー部 環境政策課
　　企画政策グループ　グループマネージャー　西川　司信　氏

祈願祭

大間町
９月30日

（仮称）大間町学校給食センター建設工事安全祈願祭





日　時　令和８年９月30日（水）正午
会　場　（仮称）大間町学校給食センター建設地（大間小学校敷地内）

編集後記

２０２６年も残り１か月。月日の流れが早く感じるお年頃になってまいりました。皆様はどんな１年でしたか。

ついこの間タイヤ交換したかと思えば、また交換の季節。また雪の心配・水道凍結の心配さらには、高騰する灯油の心配しながらの冬支度。来年こそは良い年になることを願っています。

少し早いですが、本年も町民の皆様に、見やすい・わかりやすい議会広報を研究し作成してまいりました。

町民の皆様の２０２７年が、幸多きことを広報編集委員一同願っております。

来年も議会だよりをご覧いただけられるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

記【堺】

議会広報編集委員
委員長　堺　祐介
副委員長　山崎一利
委員　傳法正広
　　吉田安男
　　佐々木信彦